

## EVENT

**B** 10/14(金)18:00~21:00 **要予約**  
 ふたかわ超学校 × 紀南アートウィーク コラボ企画  
 『太陽の塔』上映会 + 唐澤太輔氏 特別トーク

場所: tanabe en+ 定員: 25名

映画+トーク料金: 大人2,000円 高校生1,000円

中学生以下 無料(現地にて現金のお支払)

※席数に余裕がある場合は、当日券を販売いたします。

主催: ふたかわ超学校

共催: 紀南アートウィーク

日本に住んでいれば何らかの形で見たことがあるであろう『太陽の塔』。圧倒的な異物感と存在感はいまだに人々の興味を引いて離さない芸術作品。実は映画内で田辺の有名なあの偉人も岡本太郎と共通点の多い人物として登場します。その偉人とは？！また、今回は特別ゲストとして映画にも出演していた秋田公立美術大学美術学部アーツ&ルーツ専攻ならびに大学院複合芸術研究科准教授をされている唐澤太輔氏をお迎えして『太陽の塔』に関する特別トークも開催します。



唐澤太輔 KARASAWA Taisuke

1978年、兵庫県神戸市生まれ。秋田公立美術大学美術学部アーツ&ルーツ専攻ならびに大学院複合芸術研究科准教授。専門は、哲学、文化人類学。特に、人類が築き上げてきた民俗・宗教・文化の根源的な「在り方」の探求を、知の巨人・南方熊楠の思想を通じて行っている。近年は、熊楠とアートの思考の比較考察、及び華厳思想の現代的可能性についても研究を進めている。

**C** 10/15(土) 19:00~ **要予約**  
 サウンドアートユニット AWAYA ライブ  
 「みかん神話」

場所: 愛和荘 定員: 20名

参加費: 2,500円

中辺路町在住のサウンドアートユニット・AWAYAのスペシャルライブを開催します。「みかん神話」というイメージを起点に、音楽を通じて、熊野における神話世界を表現します。



**E** 10月16日(日)13:00~17:00 **要予約**  
 親子ワークショップ【みかん教室】  
 第2回~探究の学びを体験しよう!~

場所: 秋津野ガルデンと近隣みかん畑

対象: 小学生と保護者

(小学生前後のお子さんも参加可能です)/ 大人だけのご参加も可能です。

参加費: 子ども500円 大人1000円(現地にて現金でのお支払い)

主催&進行: ワカヤマスコラボ 仙石恭子・小佐田裕美

定員: 20名程度

紀南に新たな学び舎の設立を目指し活動する「ワカヤマスコラボ」との合同企画。親子で共に学び、探究を深めるワークショップを実施します。地域に根ざしたみかん畑でフィールドワークを行ったあと、大人と子どもに分かれてそれぞれのチームでマインドマップを活用したワークショップを実施。お互いの研究結果を発表し合い、より深い学びを共有します。



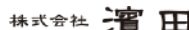
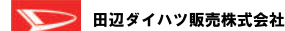
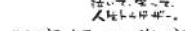
## 協賛



佐藤生空法律事務所



SOUZOU



主催: 紀南アートウィーク実行委員会

構想: みかんコレクティブ

共催: 株式会社南紀白浜エアポート

キュレーション: プロダクション・ソミア

助成: 公益財団法人 福武財団

協賛: (株)Ultimate Life、(株)アワーズ、(株)ウフル、紀陽銀行白浜支店、クオリティソフト(株)、ゲストリビングMu南紀白浜、佐藤生空法律事務所、白浜ガス(株)、SOUZOU、(株)高垣工務店、田辺ダイハツ販売(株)、(株)濱田、(株)モリカワ、(株)山長商店、緒方剛、木村剛大、木村篤、多田穂子、林ひろみ

後援: 和歌山県、田辺市、田辺市教育委員会、田辺観光協会、(株)紀伊民報、FM TANABE、テレビ和歌山

協力: ivory books、秋津野ガルデン、Artport(株)、Yeo Workshop、石山喜重子、石山登啓、伊藤農園、橋本神社、Gallery Ver、熊野ログ、藏光農園、K型 chocolate company、coamu creative、小谷農園、小山登美夫ギャラリー、ColoGraphical、Sa Sa Art Project、Shinju、鈴木農園、NPO法人ZESDA、十秋園、湯治のできる宿 しらさぎ、中西建具、Nha San Collective、紀州原農園、文化科学高等研究院、ふたかわ超学校、一般社団法人MAP、まつさか農園、松下農園、まるまつ農園、南方熊楠顕彰会、明光バス(株)、ユカ・ツルノ・アートオフィス、Restaurant Caravansarai、ワカヤマスコラボ



公式HP

紀南アートウィーク2022

# みかんマンダラ

KINAN ART WEEK 2022

2022. 10 / 6(木) ▶▶ 16(日)

入場無料

一部のワークショップや体験などは有料となります

# EXHIBITION SITE

2022.10.6.Thu. - 10.16.Sun.11 days | 展示会場



「紀南アートウィーク2022」では、「みかんマンダラ」と題し、和歌山県田辺市の特産である柑橘・みかんをテーマに、4つの会場を中心に展覧会やワークショップを開催します。

柑橘・みかんが豊かに実るためには、太陽や雨風といった天候の他に、成長に適した地形、土壌を作る菌類、地上から見るできない根のネットワークなど、さまざまな要素が必要となります。しかし、その多くはなかなか目にすることや意識することが難しいものでもあります。土や根を知ることが、「追根究底」という言葉にあるように、物事の根本を知ることでもあります。果樹やこの土地の豊かな文化が生まれるその「土壌」について、食／農／文化／生活の思考のネットワークについて10組のアーティストの表現を通して考えます。

## A 秋津野ゆい倉庫

田辺市上秋津1487

8:30~16:00

「実り / 果実を巡る旅」

廣瀬智央



きてら秋津野直売所

## E 秋津野ガルテン

田辺市立上秋津小

## B tanabe en+

田辺市湊41-1

10:00~17:00

「みかん神話」

VR蕎麦屋タナベ



## C 愛和荘

田辺市古尾28-24

10:00~17:00

※10/8のみ 10:00~15:00

10/9のみ 11:00~17:00

「土と根 / 見えない根を探る」

クウワイ・サムナン、

bacilli(バシライ)、廣瀬智央



## D SOUZOU(旧岩橋邸)

田辺市中屋敷町70-1

10:00~17:00

「菌と共生 / 菌根ネットワーク」

AWAYA、狩野哲郎、クイン・ドン、トゥアン・マミ、

ピー・タケム・パッタノパス、ピヤラット・ピヤポンウィワット、廣瀬智央



SOUZOU(旧岩橋邸)

天神崎

扇ヶ浜

田辺市役所

D

JR紀伊田辺駅

R424

高山寺

田辺警察署

南紀田辺IC

田辺スポーツパーク

JR芳養駅

C

秋津川

R42

E42

紀伊民報

紀菜柑

B

i

P

E

P

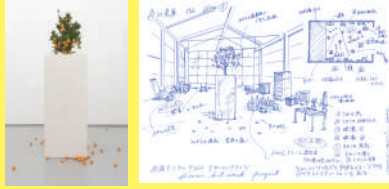
P

A



## A 秋津野ゆい倉庫 | 展示テーマ「実り / 果実を巡る旅」

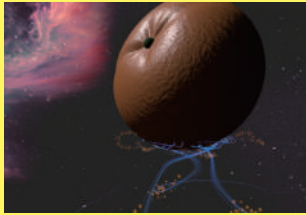
地域で生産された果実が集められ、販売そして加工されるこの場所は、果実の一つの終着地点ともいえます。しかし、私たちが食すことで「みかんの旅」は終わるのではなく、自然や人間を含めた大きな循環の途中にあるとも考えられます。ゆい倉庫では、柑橘類を使用したインスタレーションで、私たちが普段目にするみかんをはじめとした柑橘とその加工品、またみかんの皮や食べられない部分を使用した再生品などの展開を試みることで、みかんを通じて私たちの生活と産業、自然環境と循環について考えます。



廣瀬智央 HIROSE Satoshi  
【みかんコレクティブ】(2022)  
イタリア・ミラノ在住。豆やレモンなどの食材や日用品を用い、感覚に働きかける作品を世界各地で発表しています。本展では、田辺にて柑橘のリサーチを行い制作したインスタレーションを展開します。また、長期プロジェクトとして「みかんの苗木の旅」を始動します。

## B tanabe en+ | インフォメーション & 「みかん神話」

tanabe en+は、地域の魅力的なヒト、モノ、コトをゆるやかに混ぜ合わせながら、新たな発見や出会いの「縁」を結ぶ交流拠点。開催期間中は「みかんマンダラ」展のインフォメーション・センター機能を担います。また、会場にVRヘッドセットをご用意し、VR空間上で展開している作品「みかん神話VR」の世界を体験していただけます



VR蕎麦屋タナベ VR Sobaya Tanabe  
【みかん神話VR】(2022)  
日本蕎麦屋を営みながらメタバースで様々な企画や世界を作る。今回、VR蕎麦屋タナベとみかんコレクティブのメンバーがアイデアを持ち寄り、VR蕎麦屋タナベによって構築されたVR空間上に体感型のアート作品を展開します。  
古事記等、日本神話を題材に、太陽の複数化、根と果実の世界を反転などをキーワードに制作しています。

### EVENT

🕒 10/9 (日) 15:00~17:00

トークショー 「みかん神話 - 紀南の神を知ろう -」

スピーカー:

山本哲士(文化科学高等研究院ジェネラル・ディレクター)、  
坂本このみ(熊野ログ管理人)、原拓生(紀州原農園 園主)

定員:20名 参加費:無料

紀南/熊野の地は、神武東征等の古事記、日本書紀において、極めて重要な場所です。アマテラス、スサノオ等、魅力的な登場人物が登場するとともに、桃や椿等の植物も登場します。その中で、みかんの原種である「橘(たちばな)」も多く登場しますが、「橘」を起点に、紀南地域の土着の神について語る場を設けます。ニギハヤヒとイワレビコ(神武)が共存する熊野について考えを深めていきます。また、レクチャー後、地域のゲストを交えたパネルディスカッションを行います。

要予約



山本哲士



原拓生

坂本このみ

山本哲士 YAMAMOTO Tetsuji  
元東京藝術大学客員教授、元信州大学教授。文化科学高等研究院ジェネラル・ディレクター。ホスピタリティ環境学、教育社会学、政治社会学を専門としながら経済論、政治論、日本文化論、メキシコ研究など超領域的専門研究を拓き、大学アカデミズムとは異なるさまざまな新たな学術生産の活動に携わっている。

## C 愛和荘 | 展示テーマ「土と根 / 見えない根を探る」

かつて田内栄一が1957年に市の文化発展のため田辺市古尾に建てた旅館「愛和荘」は、国内外の著名人が訪れるなど、地域の文化交流の拠点でした。現在はその屋号を引き継ぎ、上野山城跡の古民家を利用した宿として運営されています。田辺市街と田辺湾を見渡せる場所から、地中にある根とその土を知覚することで、豊かさを生み出す土壌や根に注目した作品を展示します。



クウワイ・サムナン Khvay Samnang

【無題, 2011】(2011)

カンボジア・プノンペン在住。ユーモラスで象徴的な身振りを使い、伝統的文化儀式、そしてまた歴史や現在の出来事について、新しい視点を提示する作品を制作。近年加速化するプノンペンの土地開発によって、湖が埋め立てられる現状に目を向けた映像作品を展示します。



バシライ bacilli

【basilli×Caravansarai〜薫る土壌〜】(2022)

南条嘉毅・ジェームス・ジャック・吉野祥太郎により、土・人々・食にフォーカスし、我々とそれらを繋ぐ役割として空間・環境を創造するアーティストコレクティブ。本展では、田辺市のキャラバンサライの更井亮介シェフとコラボレーションした土をテーマにしたイベント「薫る土壌」を実施。そのリサーチのアーカイブなどを展示します。



廣瀬智央 HIROSE Satoshi

【クマノ・ラディーチ】(2022) など

愛和荘での展示では、廣瀬が紀南地域をリサーチするなかで、熊野古道や柑橘の樹々からインスピレーションを得て制作された新作の立体作品と写真作品などを展示します。

### EVENT

🕒 10/7 (金) 18:00 ~

トークセッション「土と根の記憶 カンボジアと紀南/熊野から」

スピーカー:クウワイ・サムナン(出演作家)、

石倉敏明(秋田公立美術大学美術学部 准教授、芸術人類学者)

定員:20名 参加費:無料

世界の人々にとって、自身の根(ルーツ)や土壌(居場所)を持つことは、もっとも根源的な要求です。今回、カンボジアを代表する現代アーティストのクウワイ・サムナン氏と、人類学者・石倉敏明氏を招聘し、サムナンの作品を起点に、カンボジアと紀南の根や土について、語り合います。植民地主義とグローバル化における環境の悪化、生態への影響等をユーモラスに表現するサムナン。インドや日本中を旅しながら、日本の伝説や神話を調査し、多くの研究発表を行っている石倉。両者の対話を通じて、カンボジアと紀南の隠された記憶や神話の共通性や相違をあぶり出していきます。

要予約

石倉敏明 ISHIKURA Toshiaki

秋田公立美術大学美術学部 准教授、芸術人類学者、神話学者。神話や宗教を専門とし、アーティストとの協働制作を行うなど、人類学と現代芸術を結び独自の活動を展開している。



石倉敏明

クウワイ・サムナン

### EVENT

🕒 10/15 (土) 17:00~18:30

bacilli × Caravansari ~薫る土壌~

アーティスト: bacilli(バシライ)、更井亮介(Caravansarai)

定員:12名 参加費:3,000円

土にまつわるストーリーや場所の記憶を「五感」を使って体験する食事会イベント。土を扱うアーティストコレクティブ「バシライ」と、田辺のフレンチレストラン「キャラバンサライ」が、田辺市内の様々な地域の柑橘農家の農園を廻り、土や果実や根、土地のストーリーなども採取。そのリサーチから感じられた土壌の芳醇な薫りを、一夜限りの食事会を通して表現します。

要予約





## D SOUZOU (旧岩橋邸) | 展示テーマ「菌と共生 / 菌根ネットワーク」

南方熊楠顕彰館からもほど近い場所に位置する「SOUZOU」では、屋内、そして植生豊かな庭と蔵にて、熊楠が生涯を通し見つけた菌や植物などをテーマにした作品を紹介します。私たちが肉眼で見ることのできない菌の世界は、地中の植物の根と同じように複雑に広がり、豊かな森をつくるためには菌の存在が欠かせないといえます。ミクロ(小さな菌の世界)をマクロ(私たちの住む広い世界)の視点に置き換えることで、世界の複雑さに触れることができるのではないのでしょうか。



あわ屋 AWAYA

【みかんと人のサウンドトラス】(2022)

和歌山県、中辺路在住。福島正知と奥野裕美子によるサウンドアートユニット。日常に潜む宇宙の神秘や生命の不思議を独特の音世界で表現したサウンドアートを制作。本展では、柑橘の樹が聴いている音に注目し、その音を鑑賞者の身体を通して聴く体験ができる作品を展示します。



狩野哲郎 KANO Tetsuro

【垂直らしさ(彫刻と花瓶)】(2021)

東京都在住。近年は生物がそれぞれの知覚によって見出す世界の多様性に興味を持ち、鳥や植物の生態によって作家の意図を超えて推移するインスタレーションを制作。本展では、会場となる「SOUZOU」の多様な植物たちが共存する庭にて作品を展示します。



クイン・ドン Quynh Dong

【晩秋】(2015)

ベトナム・ハイフォン生まれ。パフォーマンスの要素を用いて、「超現実的」な映像作品を制作。本展で展示する映像作品では、秋に落ちる葉の落葉の状態を複数の女性の身体を通して表現しています。空間や時間を感じさせない世界で、人と植物の関係を越えた「生命」の循環を想起させます。



トゥアン・マミ Tuan Mami

【移民の庭(No. 2)】(2020 - 2022)

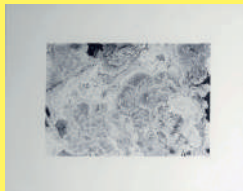
ベトナム・ハノイ在住。移動を繰り返しながら、私たちがどのように「人間」であるかという概念を探求し、観察を行う。近年はベトナムと世界中のベトナム人移民について研究している。本展では、ベトナム固有の植物と移民の関係性についての調査をもとにした映像作品を出品します。



ビー・タケム・パッタノパス Be Takerng Pattanopas

【うちとそと #3】(2020)

タイ・バンコク在住。彫刻や絵画など多様なメディアを用いて、人体の内部の世界と宇宙の繋がりを考察するような作品を制作しています。2020年のコロナ禍で制作された本作は、細胞や粘菌の集合体のようであり、また無数の星々で構成される宇宙のようにも見えます。



ピヤラット・ピヤポンウィワット Piyarat Piyapongwiwat

【絶滅種】(2021) など

タイ・チェンマイ在住。グローバル化された経済と社会問題の状況と意味を明らかにし、疑問を呈する方法として、ドキュメンテーションに重点を置き、作品を制作。本展では、地球上から絶滅した10種類の植物をモチーフにしたアニメーションとドローイングを展示します。



廣瀬智央 HIROSE Satoshi

【ビーンズ・コスモス】(2017) など

みかんの木を使った立体作品や、アクリル樹脂の中に豆や金などが閉じ込められ、宇宙を想起させるような立体作品の「ビーンズ・コスモス」のシリーズなどを展示します。

## EVENT

### B 10/6 (木) 19:00 ~ 要予約 「みかんマンダラ展 オープニングトーク」

スピーカー: 藪本雄登(紀南アートウィーク実行委員長)ほか

場所: tanabe en+ & オンライン同時配信 参加費: 無料

開催に伴い、展示アーティストのご紹介を中心としたオープニングトーク(説明会)を開催いたします。各展示会場の展示テーマや多様な関連イベント、これまで進めてきたリサーチのことなど、開催の背景や楽しみ方のポイントなどもお伝えします。

### A 10/16 (日) 18:00 ~ 要予約 「クロージングトーク」

スピーカー: 藪本雄登(紀南アートウィーク実行委員長)ほか

場所: 秋津野ゆい倉庫 参加費: 無料

### A 10/8 (土) 10:00 ~ 要予約 オープニングセレモニー 「みかんの苗木の旅」(苗木の贈与式) & トーク

スピーカー: 廣瀬智央(アーティスト)、原拓生(紀州原農園 園主)

場所: 秋津野ゆい倉庫前

みかんマンダラ展のオープニングセレモニーとして、みかんの苗木の譲渡会を行います。みかんの苗木を参加者(=里親)と共に育て、将来的には「コモンズ農園(誰もが利用できるみんなの農園)」に育てた苗木を持ち寄り、みんなで育てる長期プロジェクトとして、多くの方との関わりから生まれる、新しい農地のあり方に試みます。



### B 10/9 (日) 12:00 ~ 14:00 要予約 「紀南アートウィーク VR Live Show」

場所: オンライン(VRchat) &

オフライン(tanabe en+ でモニター中継 & VR体験)

出演アーティスト: Ambientflow, おぎゅたんbot/宝来すみれ, ジビエーズ, やまみー, カソウ舞踏団

現実世界の会場にVR世界と繋がる魔法がかかる! みかんマンダラ展のリアル会場側と繋がる2時間! VRアーティスト5組によるVR内でのリアルタイムLIVEが、展示会場(tanabe en+)の大型モニターで映し出されるほか、VRヘッドマウントでLIVE中のVR空間に入ることも可能です。



### D 10/9 (日) 10:00~11:30 要予約 絵画ワークショップ「みなかたる」

アーティスト: 杵村直子

場所: SOUZOU(旧岩橋邸) 定員: 8名

大人3,000円(SOUZOUのドリンク1杯付き)、  
子供(12歳未満)2,500円(SOUZOUのドリンク1杯付き)

※料金は当日、会場でお支払いください(現金精算のみ)

南方熊楠が残した細かな標本画をお手本に、みかんの果実や根など自然物のスケッチと(時には架空の)説明文や注釈を入れる絵画体験。柑橘の汁で濡らし炙った紙を使うことで、時の移ろいも超えたような独自の世界を描き出します。



### 10/14(金)、10/15(土) 要予約 湯治とアートのタベ ~紀南アートウィーク2021で知り合った エネルギーあふれる方々のトーク~

スピーカー: 熊野幸代(旅館しらすざぎ)、尾崎寿貴(美容室Shinju)、石山登啓(高垣工務店)

場所: 南紀白浜椿温泉宿 旅館しらすざぎ & オンライン

参加費: 無料

「生き抜くチカラ・お仕事学」エバンジェリスト 杉真里子さんの進行で、地元名物女将 熊野幸代さん、美容室Shinjuの尾崎 寿貴さん、高垣工務店社長の石山さんの3名をお迎えしてアートな角度から見た「生き方」についての対談です。「生き方がアートそのもの!」の3名のお話をきけば、心も身体も温まり、きっと自分の中の新しい何かを発見できると思います。

『要予約』マークのあるイベントは、ご予約の上で  
ご来場ください。

各イベントの予約受付は、予約サイトPeatixで  
行っております。

※定員に空きのあるイベントは、当日窓  
口にて直接受付可能なものもあります。  
詳しくはお問合せください。

< 問い合わせ: info@kinan-art.jp >

